

令和5年度第1回 いわき市まちづくり市民会議



令和6年度いわき版骨太の方針策定に向けた諸課題等の共有について

日時:令和5年6月22日(木)

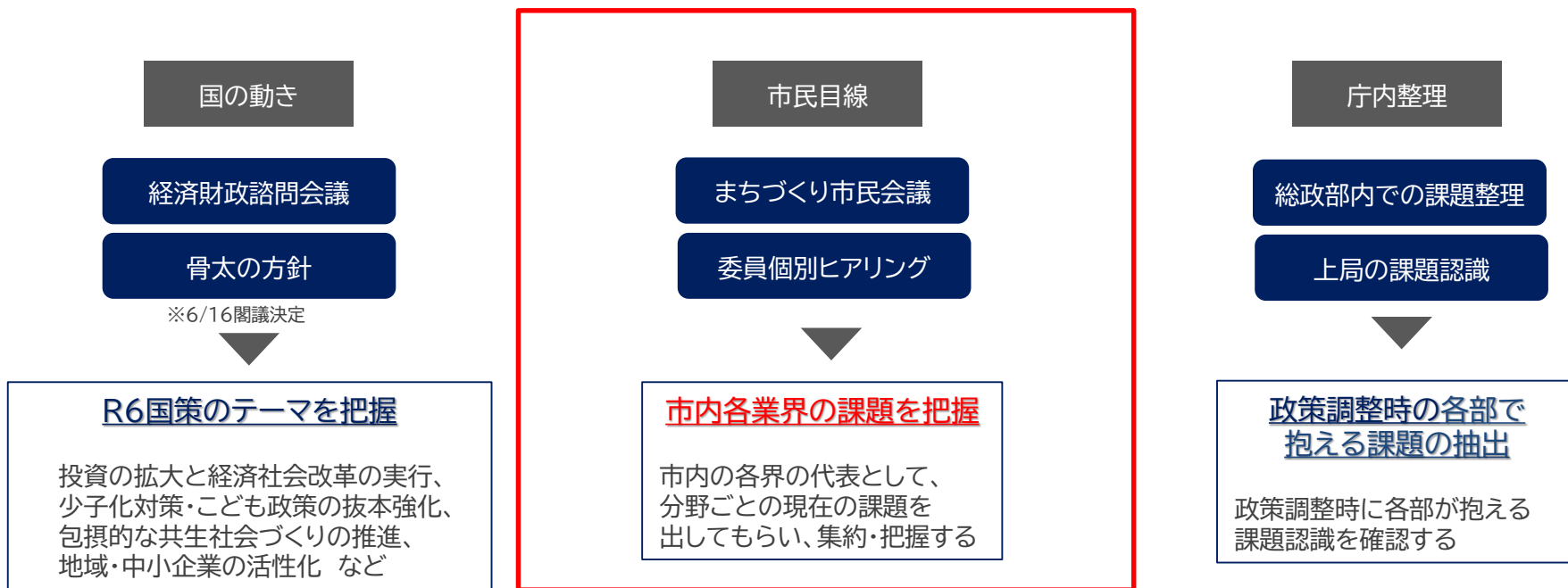
場所:いわき市役所 3階 災害対策本部会議室



1.いわき版骨太の方針策定に向けた諸課題把握における まちづくり市民会議の役割について



政策立案のスタートとなる、本市が抱える課題の整理



「国の動き」・「市民目線」・「庁内整理」を並行して進め、
本市がR6年度に対応すべき課題を明確化

2.本市が抱える課題認識（現時点で市で捉えているもの）



◎ 人づくり日本一を目指して

骨太の3つの柱	分野	課題
次世代を育てる	教育	①学力の向上、②教育のデジタル化、ICTの効果的な利活用、③地域との連携、④小中学校の再編、⑤不登校や人間関係など特別な支援が必要な児童の増加、⑥保護者の教育負担の軽減
	子育て	①少子化、②子育て環境の充実、③子どもを取り巻く環境への対応
	移住定住/流出抑制	①移住定住の促進、②若者流出に対する人材還流の仕組みづくり、③職員の資質向上・優秀な人材の確保
	DX/GX/広報	①地域のデジタル化推進による地域課題の解決、②行政DXの推進、③脱炭素社会実現に向けた市民や事業者の意識改革・行動変容、④効果的な情報発信方法
命・暮らしを守る	防災	①防災備蓄関連の整備・充実、②公助・共助における防災体制関連、③情報伝達手段関連、④避難行動要支援者の避難体制関連
	医療	医師不足
	福祉/健康/地域包括ケア	①地域共生社会の実現（福祉/地域包括ケア）、②健康づくりと介護予防等
	中山間/担い手	人口減少による担い手不足
まちの魅力を高める	産業	①既存企業の稼ぐ力の向上、②人材育成、③創業支援・新産業創出
	農林水産	①農林水産物への信頼回復、②地産地消促進、③担い手人材の育成・確保、④ALPS処理水放出による水産物へのさらなる風評被害抑制・対策
	観光/文化/スポーツ	観光客、多文化共生、スポーツを通じた交流人口拡大等
	まち/公共交通	①市街地の空洞化とその抑制、②公共施設の維持・再編、③持続可能な公共交通ネットワークの構築



委員の皆様からいただいた ご意見について

分野	課題	委員からの主なご意見
教育	①学力の向上 ②教育のデジタル化、ICTの効果的な利活用 ③地域との連携 ④小中学校の再編 ⑤不登校や人間関係など特別な支援が必要な児童の増加 ⑥保護者の教育負担の軽減	②☞ PCスキル向上 、各家庭の 通信環境の格差是正 ③☞ 体験学習等の機会拡大 ⑤☞ 不登校児童への 対応側の知識習得及び意識醸成 の重要性、不登校児童の 居場所確保 ⑥☞ 多子世帯等のダブルワーク の事例実態把握 ⑥☞ 多子世帯の教育費負担の軽減 ○☞ 心及び人間性を育てる ことも教育
子育て	①少子化 ②子育て環境の充実 ③子どもを取り巻く環境への対応	②☞ 土日祝日及び早朝夜間保育体制の充実した整備 の必要性。 学童保育の拡充 。共働きが必要な多子世帯の 雇用に影響 。（雇用ニーズと保育体制のミスマッチ）



分野	課題	委員からの主なご意見
移住定住/ 流出抑制	①移住定住の促進 ②若者流出に対する人材 還流の仕組みづくり ③職員の資質向上・優秀な 人材の確保	①☞子どもたちへの郷土愛の醸成は、 親、教師、地元企業それぞれからのアプローチ が必要。 ①・②☞市外へ転出した若者へ、 プッシュ型による市内企業の魅力発信・リモートワークを中心としたフリーランサー等の移住促進対策・外国人移住者の積極的な受け入れ ②☞各分野における人材不足の一方、 市外へ仕事を求めて若者が流出 。他市の成功事例の研究などにより、 効果的な方策を見出す必要性 有り。
DX/GX/ 広報	①地域のデジタル化推進に よる地域課題の解決 ②行政DXの推進 ③脱炭素社会実現に向けた 市民や事業者の意識 改革・行動変容 ④効果的な情報発信方法	①☞キャッシュレス導入による 事業者負担（手数料）の増加 や、 マネーの市外還流 への対応。 ①・②☞ 高齢者はデジタルへの対応が非常に負担 であるため、 配慮した対応 が必要。 ②☞ 来庁不要の行政手続き 推進に期待。 ③☞脱炭素によって生じる経済的な変化をビジネスチャンスとし、 市内経済の構造改革を 図る必要。 ③☞ 脱炭素加速 には、市入札参加資格等に 低炭素化に対する取組の実績を加えるなどの対応 が有効。 ③☞脱炭素化には 施設の断熱化 推進。





分野	課題	委員からの主なご意見
防災	<ul style="list-style-type: none"> ①防災備蓄関連の整備・充実 ②公助・共助における防災体制関連 ③情報伝達手段関連 ④避難行動要支援者の避難体制関連 	<ul style="list-style-type: none"> ①☞防災備蓄については、適切な日数分の食料や飲料水の確保、整備期間等も見据えた計画を持つことが重要。また、非常食等は、アレルギー及び乳児等への対応も重要。 ③☞全戸配布への新しい情報伝達の仕組みづくり。 (アパート大家の協力等) ④☞優先度の高い避難者への関係者の連携による支援体制の構築の重要性。 ④☞寝たきりの要介護者等の避難は、事前の綿密な避難時介護の計画が必要。 ○☞平地区の明確な災害対応拠点体制の構築。 ○☞高齢者等の体力を考慮した避難所等の環境確保や対応の必要性。 ○☞小中学校統廃合に係る防災拠点としての再利用。 ○☞消防団管理体制の見直し。 ○☞消防団の登録要件見直しにより、入団範囲の拡充が必要。 (現在双葉郡等の避難者は不可)
医療	<p>医師不足</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☞産婦人科、小児科等の医療人材確保。市民のコンビニ受診削減への対応。 ☞本市が他市から医師を招聘している実情も考慮し、医療創生大学に医学部創設などを狙うことも思い切った施策。地域学力の向上などの好循環へ期待。





分野	課題	委員からの主なご意見
福祉/ 健康/ 地域 包括 ケア	①地域共生社会の実現（福祉/地域包括ケア） ②健康づくりと介護予防等	②☞健康寿命が長い市の事例から、日ごろから安心して病状を相談できる かかりつけ医をもつ。 ②☞ 日本一健康な街いわきの実現 を目標に、 禁煙・HPVワクチン接種推進・がん検診受診率向上 に取り組む必要。 ○☞ 少ない医療・介護資源を大切に使う必要 有り。 住民自らが 医療・介護について学び、 地域の医療・介護資源になっていく必要が有る ため、小中学校・高校・大学など・ 職域・地域の主会場などで旺盛な健康教育を展開 する必要。
中山間/ 担い手	人口減少による担い手不足	☞防災や医療など、 他分野も含めた課題の確認。 ☞少子高齢化が深刻であり、 地域を担う後継者育成 が急務。 ☞消防団の 認知度向上 のため、行事とイベントの融合など 開かれた活動を推進 すべき。 ☞中山間地域における 農業従事者の高齢化による後継者、農耕地の維持困難な現状 有り。 ☞人口減少に伴う医療介護人材不足により、 安心した医療介護の提供のため、中心市街地への移住 も必要。 ☞少子化や人口減少に応じた 行政サービスの縮減、コンパクトシティへの移行 も急務。





分野	課題	委員からの主なご意見
産業	①既存企業の稼ぐ力の向上 ②人材育成 ③創業支援・新産業創出	①☞市内企業同士の M&Aやマッチング促進 、地域経済の競争力維持のための 経営集約と効率化 。 ②・③☞ 商業系企業の誘致・育成 により人口の市外流出を防ぐ。 ○☞市内企業の魅力発信。
農林水産	①農林水産物への信頼回復 ②地産地消促進 ③担い手人材の育成・確保 ④ALPS処理水放出による水産物へのさらなる風評被害抑制・対策	①☞いわき生産フルーツの ブランド化 (フルーツ王国ふくしま) ①☞現在の物価高、資材品薄等により 住宅建築着工数が減少傾向 。 ①・②☞木材の生産量については比較的安定しているが、 需要の減少に伴い供給過剰な状況 で、 価格も下落 しており先行き不透明。 ①・③☞中山間地域における 農業従事者の高齢化による後継者、農耕地の維持困難な現状 有り。 ○☞ カーボンニュートラルの実現 の為に、 高齢級林の皆伐・再造林 の実現。



分野	課題	委員からの主なご意見
観光/ 文化/ スポーツ	観光客、多文化共生、スポーツを通じた交流人口拡大等	<ul style="list-style-type: none"> ☞ インバウンド需要の取り込み ☞ 既存観光施設を強化する観光施策の展開や地域経済が循環する観光施策の推進。 ☞ アリオスを活用したコンサートなどの誘致とそれに伴う来訪者の獲得。 ☞ 県外他地区よりも強力な観光振興の取組み。ALPS処理水放出に対応した風評対策。
まち/ 公共 交通	<ul style="list-style-type: none"> ①市街地の空洞化とその抑制 ②公共施設の維持・再編 ③持続可能な公共交通ネットワークの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ①☞公園、道路などパブリックスペースの魅力がない (魅力をつくれれば民間投資が活発化。空き店舗も駐車場も活用される。) ○☞ウォークブルな魅力あるまちなかへの再編等 ○☞コンパクトシティを目指す方向性は堅持しつつも、「中山間/担い手」の分野の方針と相反しないような課題の方向性に留意。DX分野との連携も重要。 ○☞公共交通機関のICT化やキャッシュレス化への遅れへの迅速な対応 ○☞DXに伴うネットワーク化を優先推進すれば時間を要する物理的都市コンパクト化の必要性が薄くなる課題もある。





【参考】

「経済財政運営と改革の基本方針2023」
について



我が国を取り巻く状況



国内外の歴史的・構造的な変化と課題に直面

世界

- ロシアのウクライナ侵略による国際秩序の維持・強化の更なる重要性
 - 世界経済下振れリスクへの対応
 - 気候変動や災害問題
 - 経済安全保障に対応したサプライチェーンの構築 等
- ➔ 果敢な対応と国際協調の一層の重要性

国内

- デフレ経済からの脱却
 - 急速に進行する少子化への対応
 - 多様な働き方の選択や格差固定のない包摂社会の実現
 - 気候変動や新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえた持続可能な社会構築 等
- ➔ 意識改革や社会変革を求める構造的な課題への対応

「時代の転換点ともいえる構造的課題の克服 / 新時代にふさわしい経済社会の創造」

「新しい資本主義」の加速

- 変化に対応した経済社会の変革を推進により、社会課題解決に向けた取組等自体を成長のエンジンに変え、持続可能で包摂的な社会構築を目指す。
- 裾野の広い成長と適切な分配が相互に好循環をもたらす「成長と分配の好循環」を目指す。

三位一体の労働市場改革による構造的賃上げの実現と「人への投資」の強化、分厚い中間層の形成など5つの重点的な取組みに基づき推進





1. 三位一体の労働市場改革による構造的賃上げの実現と「人への投資」の強化、分厚い中間層の形成

- ◆ 三位一体の労働市場改革
- ◆ 家計所得の増大と分厚い中間層の形成
- ◆ 多様な働き方の推進

2. 投資の拡大と経済社会改革の実行

- ◆ 官民連携による国内投資拡大とサプライチェーンの強靱化
- ◆ GX,GX等の加速
- ◆ スタートアップの推進と新たな産業構造への転換、インパクト投資の促進
- ◆ 官民連携を通じた科学技術、イノベーションの推進
- ◆ インバウンド戦略の展開

3. 少子化対策・こどもの政策の抜本強化

- ◆ こども大綱の取りまとめ
 - ・保育人材の確保強化や現場の負担軽減
 - ・多様な子どもの居場所づくり
 - ・結婚・妊娠・出産支援など自治体の取組強化 など

4. 包摂社会の実現

- ◆ 女性活躍
- ◆ 共生・共助社会づくり
- ◆ 就職氷河期世代支援
- ◆ 孤独・孤立対策

5. 地域・中小企業の活性化

- ◆ デジタル田園都市国家構想と「新時代に地域力をつなぐ国土」の実現
- ◆ 「シームレスな拠点連結型国土」の構築と交通「リ・デザイン」
- ◆ 個性をいかした地域づくりと関係人口の拡大
- ◆ 物流の革新・中堅・中小企業の活用向上・文化芸術・スポーツの振興

